

## 【21】さらばブロントザウルス！

今、恐竜ブームで、アニメ、映画などのテーマになり、子供ばかりか大人も熱狂している有様です。

恐竜の化石の発掘もアメリカ、モンゴル、アフリカなど古い大陸を主たる舞台に盛んになり、地球史的に新しい存在の日本列島でも恐竜の化石（の破片）が発見される時代です。恐竜の種と名前も増えてきて、それらが図鑑に復元された想像画とともに沢山のっています。

人気のある恐竜というと、1番は2足歩行の肉食恐竜で、怖い顔をして仁王立ちになって相手を襲う、如何にも獰猛そうなゴジラ型をした"ティラノサウルス"でしょう。

女の子にも人気のある穏健そうな草食恐竜は、四つ足で長い首と尻尾を持ったタイプ（種が多い）や、首のまわりに防禦用の硬いフリルをつけ、3本の角を持ったトリケラトプスなどがあります。

私も、子供の頃から恐竜に興味がありました。

昭和20年代の初めに、山川惣治作の“少年王者”という絵物語が出版され、子供から大人まで国民的人気を博しました。

アフリカの奥地（ケニアからコンゴあたりか？）を舞台に、ターザンのように動物と仲の良い日本人少年"真吾"が活躍する物語ですが、そこに恐竜が登場するのは。

当時、恐竜というと、ブロントザウルスと云われるのが右代表で、その姿形は上に述べた草食の四つ足タイプのものでした。

未だ、ゴジラの登場以前ですから、ティラノサウルス型の二足の肉食恐竜のことはあまり知られていませんでした。

さて、近頃は図鑑を見ても〇〇サウルスの種名が何十何百と（学問レベルでは千以上あるとのこと）載っているのですが、不思議なことにブロントザウルス（又はブロントサウルス）の名が見つからないのです。

図鑑の解説や恐竜の本を何冊か読んで、ようやくわけがわかりました。

ブロントサウルス（Brontosaurus,日本語では「雷竜」）は、近年の研究で、それ以前に発見されていたアパトサウルスと同じ種であると判明し、よってこの種はアパトサウルスで代表され、ブロントザウルスの名は消えることになったということです。

時代とともに主役の座が入れ替わるのは世の習いですが、ブロントザウルス世代も、今や過去の人？になったと改めて感じ入りました。

（補注） 最新の研究では、アパトサウルスとブロントザウルスはやはり別の種であるという説が登場したとのこと。敗者復活戦ですね。